

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハーティワンおりいぶ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 17日 ～ 2025年 3月 7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 3月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育なので、それぞれのこどもにより合わせた専門性の高い療育を提供できる。	個々の子どもの特性や発達段階に応じて、オーダーメイドの療育プランを作成している。こども一人ひとりに最適なアプローチを考察して選定し、無理なく楽しく進められる支援を提供している。	こどもの成長や実態把握のために、より専門性の高いアセスメントや支援を導入していく。また、多職種での連携を強化し、個々のニーズにより深く対応できるようにしていく。
2	親子で来ていただいているので、保護者との情報共有や共通理解のために毎回話すことが出来る。	保護者との密なコミュニケーションを通じて信頼関係を築き、こどもが日常生活で直面している課題やニーズをしっかりと把握している。	引き続き、毎回保護者とのフィードバックや情報共有をすることで、家庭環境でも療育が一貫して行えるようサポートする。
3	運動あそびと机上活動が基本的に部屋で分かれているので、こどもに分かりやすく構造化した環境を作りやすい。	それぞれの活動が持つ特性を最大限に活用して提供している。視覚的にもこどもが何をするのかを理解しやすいようにしている。	部屋が分かれているとはいえ、時にはこどもの個別のニーズに応じて、環境と活動を柔軟に組み合わせて検討する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こども園や保育所、幼稚園、学校との交流や情報共有が出来ていない。	情報共有体制が整っていない。	他の機関との関係構築のために、定期的に連絡を取り合う等、情報共有の体制を構築する。
2	緊急時に備えた定期的な避難訓練を実施できていない。	個別療育で提供しているため、どのこどもにも対応できる形で避難訓練を実施することが難しい。	個別のペースに合わせて段階的に訓練を行ったり、少人数グループで訓練を行ったりすることを検討する。
3	担当制の個別療育を行っているため、各職員が持つ視点やアプローチが異なり、その結果、利用児に対する支援が偏ることがある。	各職員は自分の経験や考え方に基づいて支援を行うため、各職員で支援方法やアプローチに違いが出ており、結果的に支援に一貫性を描くことがある。	職員間で定期的にミーティングを行い、各利用児の支援状況や進捗を共有する。定期的に勉強会や研修を事業所で実施する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		ハーティワンおりいぶ		公表日		2025年3月28日			
		利用児童数		25		回収数		22	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22				サーキットと学習とで部屋が分かれていて切り替えが出来るのが良い。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	1			昨年、何人か職員が辞められて少し不安があった。	新しい職員とともに、職員間の連携強化を進め、支援の質を維持・向上させ、安心してご利用いただけるよう取り組む。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	3	3	1	階段が多く、急勾配なので危ないと思う。階段に滑り止めを敷いて工夫されている。	今後も安全面に配慮し、こどもの階段昇降の際は必ず職員等が同行する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22						
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22				専門性の高い療育を実施してもらっていて、成長をととも感じる。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21			1			
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22				ニーズを丁寧に聞いていただけていると感じる。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21			1			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21			1	毎回プログラム内容の説明や子どもの様子を教えてくれる。プログラムも日々変化している。毎回異なる訓練で楽しく通える。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5		7	10	通っている園とは連携が無いので少し残念。	利用児が通園・通学している地域の園や学校との連携体制を整えていく。	
保護者への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21		1				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20		1	1			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	3	2	6	研修会は行われていない。	今後、必要性があれば実施に向けて検討する。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	22				活動後に先生と直接話をする機会が毎回あり、丁寧に共通理解できていると思う。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1			いつもいろんな相談にのってくださっている。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	7	11	仲の良い保護者ができ、情報交換ができた。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1		11		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	4		10		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	3	1	15	まだ訓練は行われていない	定期的な避難訓練を計画的に実施し、子どもたちの安全確保に努める。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18			4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21			1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	22				こどもの特性に合わせて実施しており、こども自身がとても楽しんでいる。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ハーティワンおりいふ		2025年3月28日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		情報量の整理や遊具の難易度などを考えながら環境設定などを行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1		個別療育の実施でもあり、個人任せなところがあるので職員全体でやっていく。また、振り返りと改善を丁寧に実施する。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	共有することがあるたびに職員間で意見交換するようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1		学びが個々なので、事業所全体的な向上も検討していく。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		他の関係機関との連携体制を整えていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		他の関係機関との連携体制を整えていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		他の関係機関との連携体制を整えていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	2	3		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		個別療育に合わせた避難訓練を検討し、定期的を実施していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		個別療育に合わせた避難訓練を検討し、定期的を実施していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1		日々の療育の中で少しでも危険を感じることであれば共有し合い、対策を検討する。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			